



平和と独立を求める
民衆の「決意」を伝える
神道ジャーナリズム誌

【本号の内容】「主張」維新の躍進に警戒せよ 衆院選、議席確定 自公の実質勝利と野党共闘の敗北 本誌終刊を迎え、五年の歩みを振り返る（木川智）：1／君知るや、神社本庁「憲法記念祭」を（木川智）：4／花瑛塾令和三年十月活動報告：10／【連載】児玉誉士夫を君知るや（9）（木川智）：12／【連載】葦津珍彦と神道ジャーナリズム19（鎌倉佐助）：14／編集後記：16

1部 1000円

衆院選、議席確定 自公の実質勝利と野党共闘の敗北

維新の躍進に警戒せよ

神苑の決意 木川智

【主張】十月三十一日に投開票が行なわれた第四十九回衆議院選挙の全議席が確定した。

結果をいうと、単独過半数の維持が微妙な情勢といわれていた自民党は、小幅な議席減に留まり、絶対安定多数といわれる二六一議席を獲得、公示前議席から三議席増やした連立与党の公明党の三十二議席を合わせ、自公で三百議席に迫る二九三議席を獲得した。

対する野党はどうか。公示前議席より数十議席の議席増といわれていた立憲民主党は、公示前議

席を十三議席も減少させ、九十六議席と公示前議席を下回った。また共産党も公示前議席を下回る十議席に終わった。なお、れいわ新選組は三議席を獲得し、公示前議席を二議席上回った他、社民党も一議席と公示前議席を維持する結果となったが、立憲、共産、れいわ、社民の野党共闘全体の枠組みとしては、敗北を喫したといわざるをえない。

一方、今回の衆院選で大躍進を遂げたのが日本維新の会である。維新は公示前議席を三十議席も

上回る四十一議席を獲得した。維新については、前回の衆院選において希望の党と棲み分けをし、本来ならば獲得できた議席を手放した経緯もあり、今回の衆院選は前回手放した議席を「回収」することになるため、もともと議席増がいられていたが、それにして大変な躍進である。

維新の勝因の一つに、維新は今回、野党共闘とは無関係な非与党として各地の小選挙区で候補者を擁立し、比例票を掘り越したことがあげ